

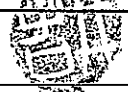






## 出張命令書兼支出調書

支出番号	第 17 号	会派代表者	経理責任者
令和元年8月13日起票			
支出科目	調査旅費		
支出額	¥279,030		

1 出張者内訳	出張者氏名	旅費 (円)	確認印
	1 井手口 良一	93,010	
	2 堀 嘉徳	93,010	
	3 松本 充浩	93,010	
	4		
	5		
	6		
	7		
	8		
	9		
10			
2 用務先	①那覇市 (8月20日 14:30~16:30) ②糸満市 (8月21日 10:00~12:00) ③糸満市 (8月21日 13:30~15:30)		
3 出張期間	令和元年8月20日から令和元年8月22日 ( : ~ : ) ( 2 泊 3 日 )		
4 用務内容	①はなMAP事業について ②糸満市平和祈念祭事業及び糸満市平和ガイド研修生事業について ③沖縄県平和祈念資料館及び平和祈念公園について		
5 特記事項			

総務課長 殿

会派名 おおいた民主クラブ

氏名 井手口 良一



旅 費 ( 変 更 ) 計 算 依 頼 書

下記のとおり調査研究活動のため出張いたしますので旅費計算をお願いいたします。

記

日 程	令和元年8月20日 ~ 令和元年8月22日
出張者	井手口 良一、堀 嘉徳、松本 充浩
用務地	①那覇市 (8月20日 14:30~16:30) ②糸満市 (8月21日 10:00~12:00) ③糸満市 (8月21日 13:30~15:30)
用務内容	①なはMAP事業について ②糸満市平和祈念祭事業及び糸満市平和ガイド研修生事業について ③沖縄県平和祈念資料館及び平和祈念公園について

旅 費 計 算 書

経 路	8月20日 大分-博多-福岡空港-那覇空港-県庁前 8月21日 県庁前-赤嶺-糸満市役所入口 8月22日 糸満市役所入口-赤嶺-那覇空港-福岡空港-博多-大分													
旅費内訳	<table border="0"> <tr><td>交通費</td><td>54,610</td><td>円</td></tr> <tr><td>宿泊料</td><td>28,500</td><td>円</td></tr> <tr><td>日 当</td><td>9,900</td><td>円</td></tr> <tr><td>計</td><td>93,010</td><td>円</td></tr> </table>	交通費	54,610	円	宿泊料	28,500	円	日 当	9,900	円	計	93,010	円	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>バック料金 62,100円 の内、航空運賃として 43,100円 とみなす</p> </div>
交通費	54,610	円												
宿泊料	28,500	円												
日 当	9,900	円												
計	93,010	円												

上記のとおり通知いたします。

令和元年 8月 6日  
総務課長 村上 雄



		日当	宿泊	乗換案内の 交通費
8/20	大分市→那覇市	3,300	15,000	26,730
8/21	那覇市→糸満市	3,300	13,500	760
8/22	糸満市→大分市	3,300	-	27,120
		9,900	28,500	54,610

一人当たり旅費合計	93,010
-----------	--------

※21日の用務終了後、22時頃までに帰る便に間に合わないため、後泊とする。

※パック料金(62,100円)のうち、宿泊代16,100円(2泊)、朝食代2,900円(2食)、往復航空運賃43,100円とみなす。

※赤嶺～糸満市役所入口間については、路線バスを利用する。

パック旅行 料金(A)	宿泊料金 (B)	朝食代 (C)	その他パック 旅行代に含ま れるもの(D)	みなし航空 運賃(E) E=A-(B+C+D)	みなし片道 航空運賃 E ÷ 2
62,100	16,100	2,900		43,100	21,550

2泊3日 @8500×1 @1500×1  
@7600×1 @1400×1

大分 ~ 県庁前(沖縄) 2019年8月20日(火) 6時40分 発 決定(取り込み)

経路	評価	時間	費用	距離
		5時間 32分	38,160円	1071.8km
		6時間 31分	29,110円	1050.5km

26,730円

経路 No.1

	2019/08/20	運賃	料金	距離
大分	06:40	● 4660円	●	●
ソニック6号	↓  136分	● 3670円	● 2950円	● グリーン席 198.5km
博多	08:56	●	●	●
博多	09:03  乗換7分	●	●	●
福岡地下鉄空港線(福岡空港行)	↓  5分	● 260円	●	● 3.3km
福岡空港	09:08	●	●	●
福岡空港	10:00  乗換52分	●	● 21550円	●
ANA1205便	↓  100分	● 31020円	● FLEX最安	● 864.0km
那覇空港	11:40  乗換20分	●	●	●
那覇空港	12:00	●	●	●
ゆいレール(首里行)	↓  12分	● 260円	●	● 6.0km
県庁前	12:12	●	●	●

福岡市内 <=> 別府・大分 (指定席2枚切符) 3,090円  
 グリーン席増加分 1,570円  


---

 4,660円

県庁前(沖縄) ~ 赤嶺 2019年8月21日(水) 9時0分 発 決定(取付込)

経路 評価 時間 費用 距離  
県庁前 赤嶺 10分 ~~260円~~ 4.0km

760円

経路 No.1

定期代

2019/08/21

運賃 料金 距離

県庁前

09:05 県庁前

↓

↓

県庁前 ゆいレール(那覇空港行)

↓ 09:15 赤嶺

10分

260円

4.0km

赤嶺

09:15 赤嶺

↓

↓

発 9:20

↓ 路線バス 500円

糸満市役所入口

着 9:45

赤嶺 ~ 大分 2019年8月22日(木) 11時30分 発 決定(取り込み)

経路	評価	時間	費用	距離
		5時間 37分	38,050円	1067.8km
		9時間 13分	40,700円	1046.5km
		31時間 56分	83,050円	1312.8km
		33時間 48分	80,100円	1291.5km

27,120円

経路 No.1

	2019/08/22	運賃	料金	距離
赤嶺	11:59	●		●
ゆいレール(那覇空港行)		4分	150円	2.0km
那覇空港	12:03	●		●
	12:40  乗換37分		21550円	
ANA1208便		105分	31020円	FLEX最安 864.0km
福岡空港	14:25	●		●
	14:51  乗換26分			
福岡地下鉄空港線(西唐津行)		6分	260円	3.3km
博多	14:57	●		●
	15:19  乗換22分		4660円	
ソニック35号		137分	3670円	2950円グリーン席 198.5km
大分	17:36	●		●

系満市役所入口 発 11:22  
 ↓ 路線バス 500円  
 赤嶺 着 11:44

福岡市内 <=> 別府-大分 (指定席2枚切符) 3,090円  
 グリーン席加算分 1,570円  
 4,660円

## 旅費精算兼旅行命令変更書

支出番号	第 18 号	会派代表者	経理責任者
令和元年8月25日起票			
支出科目	調査旅費		
支出額	¥ 0		

1 出張者内訳	出張者氏名	旅費金額			精算印
		精算前	精算後	差額	
1	井手口 良一	93,010	93,010	0	
2	堀 嘉徳	93,010	93,010	0	
3	松本 充浩	93,010	93,010	0	
4		0		0	
5		0		0	
6		0		0	
7		0		0	
8		0		0	
9		0		0	
10		0		0	
2 用務先	①那覇市 (8月20日 14:30~16:30)				
	②糸満市 (8月21日 10:00~12:00)				
	③糸満市 (8月21日 13:30~15:30)				
3 出張期間	令和元年8月20日から 令和元年8月22日				
	( 2 泊 3 日 )				
4 旅費	概算額	279,030		円	
	精算額	279,030		円	
	差額	0		円	
5 用務内容	①はなMAP事業について				
	②糸満市平和祈念祭事業及び糸満市平和ガイド研修生事業について				
	③沖縄県平和祈念資料館及び平和祈念公園について				
6 特記事項	出張命令書兼支出調書 支出番号 第17号				



総務課長 殿

会派名: おおいた民主クラブ

氏名: 井手口 良一



旅 費 ( 変 更 ) 計 算 依 頼 書

下記のとおり調査研究活動のため出張いたしますので旅費計算をお願いいたします。

記

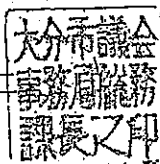
日 程	令和元年8月20日 ~ 令和元年8月22日
出張者	井手口 良一、堀 嘉徳、松本 充浩
用務地	①那覇市 (8月20日 14:30~16:30) ②糸満市 (8月21日 10:00~12:00) ③糸満市 (8月21日 13:30~15:30)
用務内容	①なはMAP事業について ②糸満市平和祈念祭事業及び糸満市平和ガイド研修生事業について ③沖縄県平和祈念資料館及び平和祈念公園について

旅 費 計 算 書

経 路	8月20日 大分-博多-福岡空港-那覇空港-県庁前 8月21日 県庁前-赤嶺-糸満市役所入口 8月22日 糸満市役所入口-赤嶺-那覇空港-福岡空港-博多-大分												
旅費内訳	<table border="0"> <tr> <td>交通費</td> <td>54,610</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>宿泊料</td> <td>28,500</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>日 当</td> <td>9,900</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>93,010</td> <td>円</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;">             バック料金              62,100円              の内、航空運賃として              43,100円              とみなす         </div>	交通費	54,610	円	宿泊料	28,500	円	日 当	9,900	円	計	93,010	円
交通費	54,610	円											
宿泊料	28,500	円											
日 当	9,900	円											
計	93,010	円											

上記のとおり通知いたします。

令和元年 8月 6日  
総務課長 村上 雄



		日当	宿泊	乗換案内の 交通費
8/20	大分市→那覇市	3,300	15,000	26,730
8/21	那覇市→糸満市	3,300	13,500	760
8/22	糸満市→大分市	3,300	-	27,120
		9,900	28,500	54,610

一人当たり旅費合計	93,010
-----------	--------

※21日の用務終了後、22時頃までに帰る便に間に合わないため、後泊とする。  
 ※パック料金(62,100円)のうち、宿泊代16,100円(2泊)、朝食代2,900円  
 (2食)、往復航空運賃43,100円とみなす。  
 ※赤嶺～糸満市役所入口間については、路線バスを利用する。

パック旅行 料金(A)	宿泊料金 (B)	朝食代 (C)	その他パック 旅行代に含ま れるもの(D)	みなし航空 運賃(E) E=A-(B+C+D)	みなし片道 航空運賃 E ÷ 2
62,100	16,100	2,900		43,100	21,550

2泊3日 @8500×1 @1500×1  
 @7600×1 @1400×1

大分 ~ 県庁前(沖縄) 2019年8月20日(火) 6時40分 発

指定(取り込み)

経路	評価	時間	費用	距離
最安飛長		5時間 32分	38,160円	1071.8km
最安飛家		6時間 31分	29,110円	1050.5km

26,730円

経路 No.1

	2019/08/20	運賃	料金	距離
大分	06:40 駅宿	● 4660円	●	●
ソニック6号	↓  136分	● 3670円	● 2950円グリーン席	● 198.5km
博多	08:56 駅宿 乗換7分	●	●	●
福岡地下鉄空港線(福岡空港行)	↓  5分	● 260円	●	● 3.3km
福岡空港	09:08 駅宿 乗換52分	●	●	●
ANA1205便	↓  100分	● 31020円	● 21550円 FLEX最安	● 864.0km
那覇空港	11:40 駅宿 乗換20分	●	●	●
ゆいレール(首里行)	↓  12分	● 260円	●	● 6.0km
県庁前	12:12 駅宿	●	●	●

福岡市内 <=> 別府 大分 (指定席2枚切符) 3,090円

グリーン席追加 1,570円

4,660円

県庁前(沖縄) ~ 赤嶺 2019年8月21日(水) 9時0分 発

決定(取り込み)

経路 評価 時間 費用 距離  
10分 ~~260円~~ 4.0km

760円

経路 No.1

定期代

2019/08/21

運賃 料金 距離

県庁前

09:05

県庁前



ゆいレール(那覇空港行)

↓ 09:15

赤嶺

10分 260円

4.0km

赤嶺

09:15

赤嶺



発 9:20

↓ 路線バス 500円

糸満市役所入口

着 9:45

赤嶺 ~ 大分 2019年8月22日(木) 11時30分 発 決定(取り込み)

経路	評価	時間	費用	距離
	最安業飛便	5時間 37分	38,950円	1067.8km
	最安業飛便	9時間 13分	40,700円	1046.5km
	最安業飛便	31時間 56分	83,050円	1312.8km
	最安業飛便	33時間 48分	80,100円	1291.5km

27,120円

経路 No.1

	2019/08/22	運賃	料金	距離
赤嶺	11:59			
ゆいレール(那覇空港行)	↓  乗換4分	150円		2.0km
那覇空港	12:03			
ANA1208便	↓  乗換37分		21550円	
福岡空港	12:40			
ANA1208便	↓  乗換105分	34920円	FLEX最安	864.0km
福岡空港	14:25			
福岡地下鉄空港線(西唐津行)	↓  乗換26分			
博多	14:51			
福岡地下鉄空港線(西唐津行)	↓  乗換6分	260円		3.3km
博多	14:57			
ソニック35号	↓  乗換22分		4660円	
大分	15:19			
	↓  乗換137分	3670円	2950円グリーン席	198.5km
大分	17:36			

系満市役所入口 発 11:22  
 ↓ 路線バス 500円  
 赤嶺 着 11:44

福岡市内 <=> 別府 大分 (指定席2枚切符) 3,090円  
 グリーン席加算分 1,570円  
 -----  
 4,660円

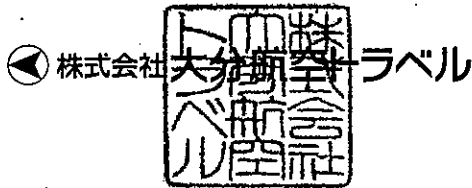
No 154882 領 収 書

井手口 良一 様



合計金額				¥	6	2	1	0	0
------	--	--	--	---	---	---	---	---	---

件 名	摘 要	金 額
航空券	8/20 ANA1205 (10:00発) 福岡-沖縄	62,100
	8/22 ANA1208 (12:40発) 沖縄-福岡	



上記金額有難く領収致しました。  
2019 年 8 月 16 日

- 本社・大分営業所  
大分市金池町2丁目1番3号 TEL (097) 536-0101  
(レインボービル3F)
- 県庁内営業所  
大分市大手町3丁目県庁1F TEL (097) 533-1900



No 154885 領 収 書

塚 嘉 徳 様



合計金額				¥	6	2	1	0	0
------	--	--	--	---	---	---	---	---	---

件 名	摘 要	金 額
航空券	8/20 ANA1205 (10:00発) 福岡-沖縄	62,100
"	8/22 ANA1208 (12:40発) 沖縄-福岡	



上記金額有難く領収致しました。  
2019 年 8 月 16 日

- 本社・大分営業所  
大分市金池町2丁目1番3号 TEL (097) 536-0101  
(レインボービル3F)
- 県庁内営業所  
大分市大手町3丁目県庁1F TEL (097) 533-1900



No 154883 領 収 書

松本 亮浩 様



合計金額				¥	6	2	1	0	0
------	--	--	--	---	---	---	---	---	---

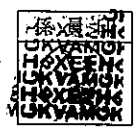
件 名	摘 要	金 額
航空券	8/20 ANA 1205 (10=00発) 福岡⇄沖縄	62,100
"	8/2 ANA 1208 (12=40発) 沖縄⇄福岡	



上記金額有難く領収致しました。  
 2019年 8月 16日

本社・大分営業所  
 大分市金池町2丁目1番3号 TEL (097) 536-0101  
 (レインボービル3F)

県庁内営業所  
 大分市大手町3丁目県庁1F TEL (097) 533-1900







# 出張報告書

令和元年8月23日

会派代表者 殿

令和元年8月20日から8月22日まで出張しましたので下記のとおり報告します。

会派名  
報告者

おおいた民主クラブ  
井手口良一



1. 出張先  
沖縄県那覇市泉町1-1-1  
那覇市役所  
沖縄県糸満市潮崎町  
糸満市役所  
平和祈念公園 管理事務所  
平和祈念資料館
2. 用務  
那覇市なはMAP事業視察  
糸満市平和祈念祭事業視察  
糸満市平和ガイド研修生事業  
平和祈念公園及び平和祈念資料館事業視察
3. 出張者氏名 井手口良一 堀嘉徳 松本充浩 高松大樹
4. 研修調査等の内容  
4-1. 令和元年8月20日(火曜日)午後2時30分～4時  
那覇市役所  
那覇市なはMAP事業  
4-2. 令和元年8月21日(水曜日)午前10時～12時  
糸満市役所  
糸満市平和祈念祭事業  
糸満市平和ガイド研修生事業  
平和祈念公園及び平和祈念資料館事業視察
5. 面談者

## 那覇市

那覇市市議会 議会事務局 調査法制課 主幹 宮城勝哉氏 他2名

那覇市 企画財務部 情報政策課 課長 當間 薫氏

情報化推進グループ 主幹 伊覇 太氏  
主事 我那覇生将氏  
主事 加賀拓也氏

総務部 防災危機管理課 主幹 (防災士) 座安 司氏 (他1名)

## 糸満市

糸満市議会 議会事務局 局長 中田徳明氏

主査 山城正彦氏

糸満市 企画開発部 秘書広報課 男女・平和・交流係 係長 仲西則子氏

## 沖縄県平和祈念財団 (公益財団法人)

主査 仲田 元氏

## 沖縄県平和祈念資料館

主査 (学芸員) 金城孝之氏

## 6. 添付資料

6-1. 那覇市役所なはMAP事業

6-2. 糸満市平和祈念祭事業

糸満市平和ガイド研修生事業

## 7. 所感

7-1. 那覇市なはMAP事業

この事業は、これまで各課別々に有していた防災マップ、都市計画情報提供システム、文化財マップ、バリアフリーマップ、病院情報ネットなどのシステムを、平成30年12月の保守期限が切れることに伴い統合して再構築したもの。

基本となる白地図に Google マップを採用しているため、スマホとの親和性が高いなど汎用性が高く、使い勝手が格段に向上している。避難所の場所などの市の提供する情報とGPS機能のストリートビューを組み合わせることによって、スムーズな避難誘導が行える。今後の課題として多言語対応などが残るが、外国人の避難誘導などにも有効性が高いと感じた。

わたし自身は防災面での活用を視野に入れて視察したのだが、その汎用性は非常に高く防災面以外でも非常に効果的なシステムと感じた。また情報入力や更新の際の職員の負担も軽減されており、その分情報のリアルタイムでの提供が可能となっている。さらに常日頃から親和性の高い汎用アプリである GoogleMAP を使うことで、市民の利用度アップも期待できる。

東京のシステム開発会社に発注したものだが、Goole マップを活用しているため、事業費は開発費と5年のメンテナンス契約で1200万円に抑えられており、費用対効果も高

いと考えられる。この会社は同様のシステムを姫路市などにも納入しているので大分市でも検討すべき事業だと考える。

#### 7-2. 糸満市平和祈念祭事業

この事業は8月23日に沖縄県主催で開催される「沖縄慰霊の日」前の1週間を「平和週間」とし、各種事業を展開している中で、特にその中の土曜日を「平和祈念祭」とする者である。

平和祈念祭は2部構成となっており、1部では同市内「平和記念公園」内の「平和の礎」の拭き清めを行っている。市内の小中学生から婦人団体まで、年齢構成も多様な方々が毎年、礎を拭き清めてくれていることを今回の視察で初めて知り、大分県関係戦没者の名前の刻まれた礎が毎年「慰霊の日」を前に子どもたちの手によって吹き清められてきたことに感激した。

2部では平和レクイエム朗読会やコンサートが催されて多くに市民が参加しているとのこと。事業費は昨年度実績で18万円だが、令和2年度は25年目の節目のとしてあることから、拡大することを計画しているとのこと。

ただ、高齢者と子どもたちの参加は多いが、子育て世代、現役世代の参加者が年々減少傾向にあるとのことで、大分市同様の問題を抱えて、その解消策に頭を痛めているとのことだった。

#### 7-3. 糸満市平和ガイド研修生事業

この事業は戦争体験者の高齢化に伴って戦争体験を語り継ぐことが困難になっていることから、主として中学生を対象として、3年間という長期にわたって継続的に戦争体験者講話やボランティアガイド研修、交流事業などを実施し、次世代の「語り部」を要請することを目的として始められたものである。

市内の小学校6年生と中学1年生を全ての小中学校から1名ずつ校長に推薦してもらい、3年間研修生として、現在24名が活動している。小学生が初めの1年間、中学生と共に活動するため、理解度などに不安があることと、中学3年生が受験準備に入るため参加意欲が低下することが問題点であり、現在事業の見直しを検討しているとのこと

#### 7-4. 平和祈念公園

この公園は復帰前から琉球政府によって、この地で建設が開始され、復帰後は都市公園として昭和47年から本格的な整備が行われてきた。

公園は約40ヘクタールの広大な面積を有し、約18万余柱の遺骨を納める納骨堂と供養塔、各県の慰霊碑を中心とした霊域ゾーン、資料館や祈念堂を中心とした平和ゾーン、毎年8月23日の「沖縄慰霊の日」に平和式典が開催される平和式典ゾーン、遊具施設なども整備された園路・広場ゾーン、そして戦争終結50年を記念して1995年に建設された「平和の礎」がある。

平和の礎には沖縄戦で亡くなった国内外の20万余人の名前が刻まれており、大分県出身者の名前も多数刻まれている。昨年と今年にも大分県出身者がひとりずつ新たに名前を刻まれている。「慰霊の日」を前に毎年糸満市の子どもたちがこの礎を拭き清めてくれていることを知り、驚きと共に感激と感謝の気持ちを新たにした。

沖縄県平和祈念財団（公益財団法人）の仲田元主査には大変ていねいな対応を頂き、公園内をくまなく案内していただくとともに、平和の広場の「平和の火」を我々の視察のために転倒していただいたことを特記しておきたい。

#### 7-5. 平和祈念資料館

この施設は戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人びとに私たちのこころを訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、人間の尊厳を何よりも重く見て、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する”沖縄のこころ”を具現するために2002年3月に開館していた。

展示のコンセプトと内容は住民目線から捉えることを基本に「平和祈念資料館監修委員会」が決めているが、大田知事時代、稲峰知事時代と時の県知事によって変更されてきたし、全国から点字内奥や説明文章への批判や変更要求などにもさらされ続けている。

展示項目はおおまかに「沖縄戦下の住民」「米軍占領下の沖縄住民」、「アジア・太平洋の中の沖縄」、「基地の重圧と住民」、「燃え上がる復帰運動」、「復帰した基地沖縄」、「21世紀の平和創造と沖縄」などの分けられている。

展示場は子どもを対象とした1階と5室に分かれて展示している2階があり、2階では第1室「沖縄戦への道」、第2室「住民の見た沖縄戦『鉄の暴風』」、第3室「住民の見た沖縄戦『地獄の戦場』」、第4室「住民の見た沖縄戦『証言』」、第5室「太平洋の要石（かなめいし）」と、時系列的にそれぞれのテーマに分かれて展示されている。

特に第5室については、戦後の収容所生活、27年間の米軍統治、復帰運動、平和創造を目指す沖縄を展示している。

沖縄の戦後は収容所から始まったが、その後、米・ソを軸とした冷戦構造の中で軍事基地として強化され、ベトナム戦争の際には攻撃基地として、図らずも戦争に繰り込まれていった沖縄。土地を奪われ、さまざまな抑圧を受け続けてきた沖縄の今日の、島ぐるみの土地闘争や基地返還運動へと広がって行く様子を分かりやすく展示している。

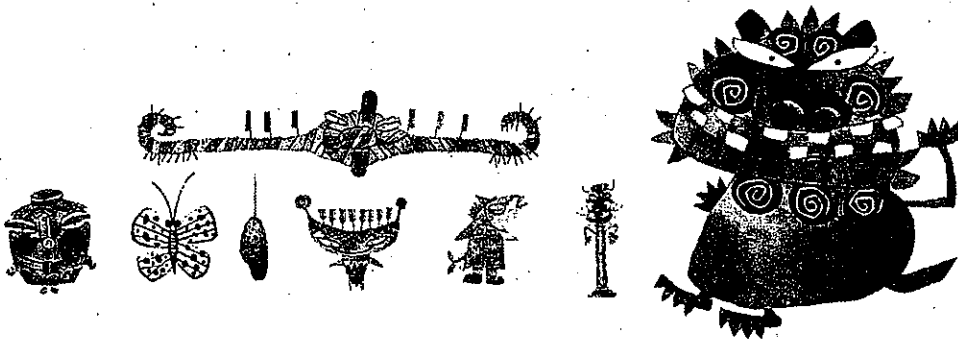
特に感じたのはこの資料館が過去の戦争の悲惨さや土地収奪の理不尽さを語るだけでなく、東西冷戦が終わった今もなお、世界各地にくりひろげられる民衆の悲劇に対して、沖縄の体験を教訓として伝え、未来志向で平和の要石からの情報発信をしようということであり、沖縄県民の心情が暖かく伝わってくる気がした。

沖縄県平和祈念資料館の学芸員、金城孝之主査はもともと小学校現場の教員であり、平和授業を現場で推進してきた経験を、小中学生の研修・見学に活かしているとのことであったが、我々も彼の説明を聞き、子どもたちへの説明の仕方や子どもたちの反応を確かめながら沖縄戦の歴史を語ろうとする姿勢に深く感じる場所があった。

# 「なはMAP!」について

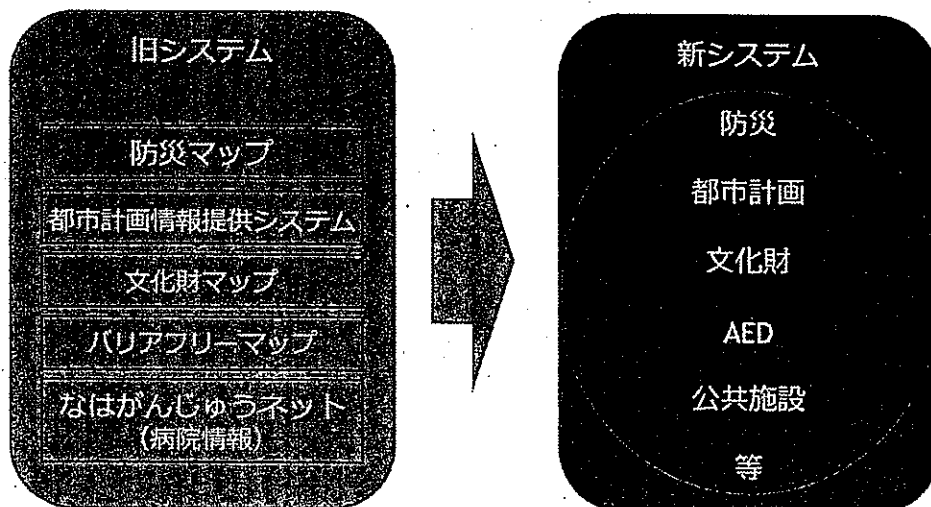
令和元年8月20日

那覇市役所 情報政策課



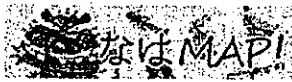
## 事業の概要

旧システムが平成30年12月に機器の保守期限が切れる事に伴い、システムの再構築を行った。

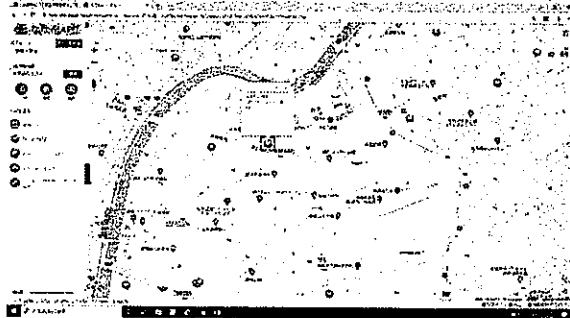
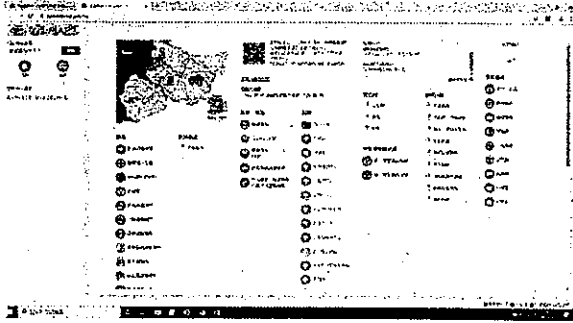




## インターフェイス



- ▶ GoogleマップやYahoo!地図とマウス操作が同一
- ▶ スマートフォン用OSと親和性が高い



## Googleとの連動

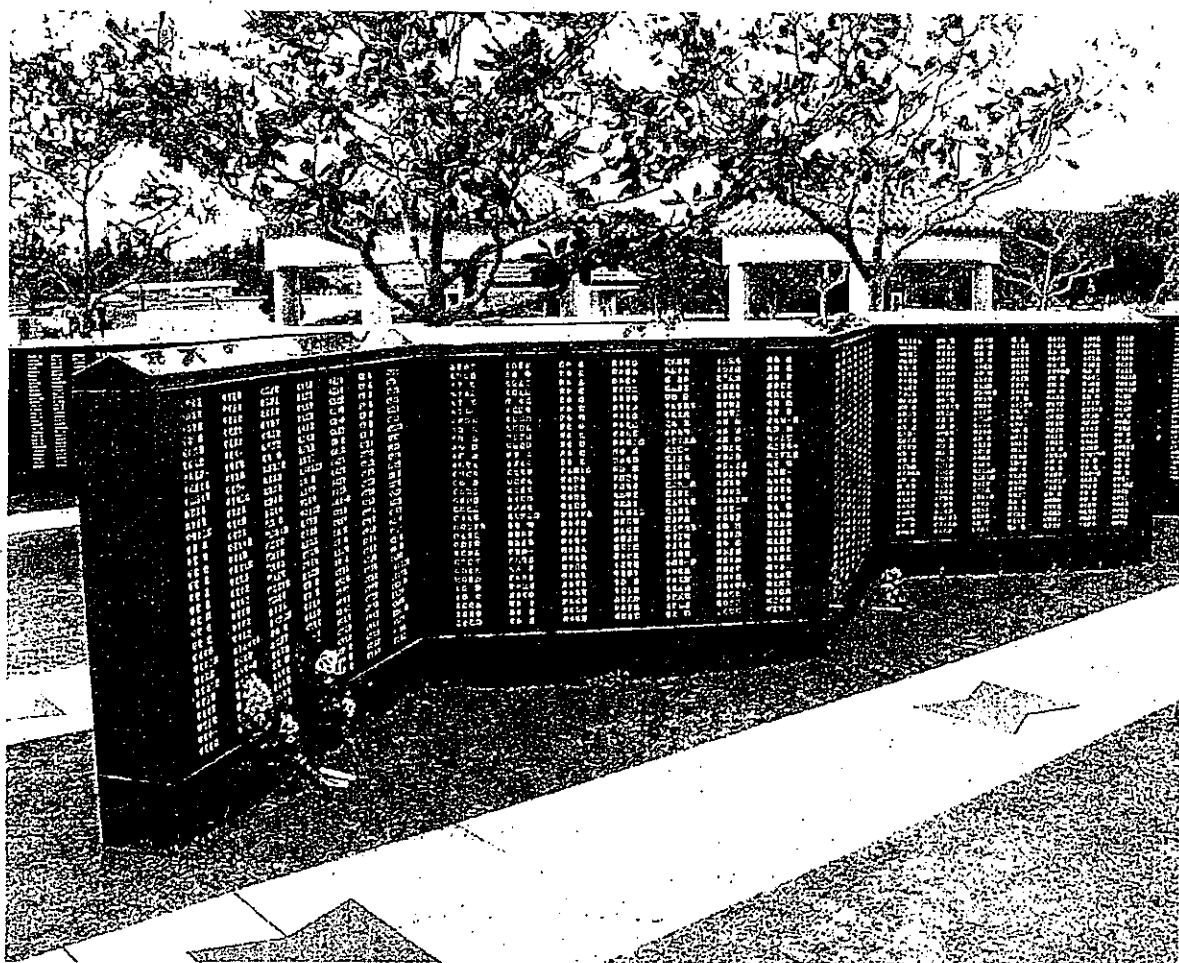
- ▶ Googleマップ、Google Street View、google検索と連動している
- ▶ スマートフォン用OSと親和性が高い

## 背景図とサブウィンドウについて

- ▶ 異なる背景図をサブウィンドウにて表示できる。
- ▶ 縮尺表示を連動できる

---

# 糸満市平和行政の取り組み



平和の礎

沖縄県 糸満市

---

## 1 糸満市の平和行政について

糸満市は先の大戦における沖縄戦終焉の地であり、毎年6月17日から23日までの一週間を「平和週間」として条例を定め「ひかりとみどりといのりのまち」として、世界に平和を発信するまちをめざしている。

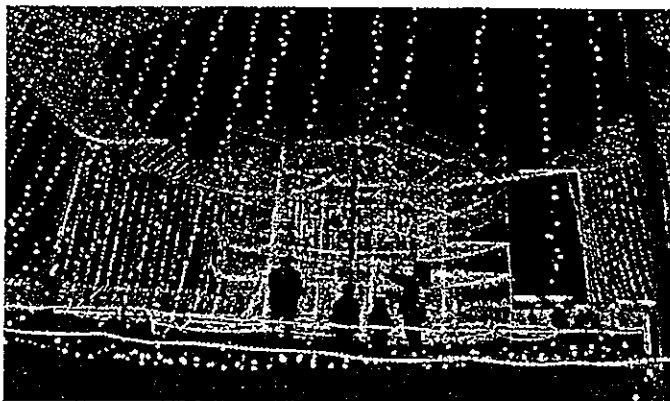
平成5年には「糸満市平和都市宣言」を行い平成7年には「糸満市平和啓蒙普及に関する条例」が制定された。

### <糸満市平和祈念祭>



沖縄戦戦没者に追悼の意を表するとともに、世界の恒久平和を祈念することを目的に開催されます。(平和の礎清め)

### <いとまんピースフルイルミネーション>



沖縄戦終焉の地の糸満市から「平和」への祈りをイルミネーションに託して世界へ発信するために行われます。点灯式では、糸満市平和ガイド研修生による「糸満市平和都市宣言」が読み上げられます。



出張報告書

令和元年8月23日

会派代表者 殿

令和元年8月20日から8月22日まで出張しましたので下記のとおり報告します。

会派名  
報告者

おおいた民主クラブ  
松本 充浩



1. 出張先 沖縄県那覇市泉町1-1-1  
那覇市役所  
沖縄県糸満市潮崎町  
糸満市役所  
平和祈念公園 管理事務所  
平和祈念資料館
2. 用務 那覇市なはMAP事業視察  
糸満市平和祈念祭事業視察  
糸満市平和ガイド研修生事業  
平和祈念公園及び平和祈念資料館事業視察
3. 出張者氏名 井手口良一 堀嘉徳 松本充浩 高松大樹
4. 研修調査等の内容  
4-1. 令和元年8月20日(火曜日)午後2時30分~4時  
那覇市役所  
那覇市なはMAP事業  
4-2. 令和元年8月21日(水曜日)午前10時~12時  
糸満市役所  
糸満市平和祈念祭事業  
糸満市平和ガイド研修生事業  
平和祈念公園及び平和祈念資料館事業視察
5. 面談者  
那覇市  
那覇市市議会 議会事務局 調査法制課 主幹 宮城勝哉氏 他2名

那覇市 企画財務部 情報政策課 課長 當間 薫氏  
情報化推進グループ 主幹 伊覇 太氏  
主事 我那覇生将氏  
主事 加賀拓也氏  
総務部 防災危機管理課 主幹(防災士) 座安 司氏(他1名)

糸満市

糸満市議会 議会事務局 局長 中田徳明氏  
主査 山城正彦氏

糸満市 企画開発部 秘書広報課 男女・平和・交流係 係長 仲西則子氏

沖縄県平和祈念財団(公益財団法人)

主査 仲田 元氏

沖縄県平和祈念資料館

主査(学芸員) 金城孝之氏

## 6. 添付資料

- 6-1. 那覇市役所なはMAP事業
- 6-2. 糸満市平和祈念祭事業  
糸満市平和ガイド研修生事業

## 7. 所感

### 7-1. 那覇市なはMAP事業

「なは MAP!」は、旧システムで「防災」「都市計画」「文化財」「バリアフリー」「病院」の各情報がそれぞれ単独で表示されていたものを違和感なくすべての項目を検索し表示することのできる新システムである。

平成30年に機器の保守期限が切れることを契機に、東京のシステム会社に依頼したもので Google マップを最大限に活用した通常スマホで使用する地図アプリと全く同様の親しみやすく操作も簡単なものとなっている。

特に驚いたのが、災害時の避難所を検索し「ここに行く」と設定したときに、現在地から目的地までナビゲートが開始され、ストリートビューでポイント・ポイントの実際の風景が表示されることであった。これならば、どんなに土地勘の無い旅行者などでも、迷うことなく目的地にたどり着ける地図アプリだと感心したところである。

この「なは MAP!」は、Google の機能をふんだんに盛り込んだ地図アプリであることから、ロイヤリティーも含め『さそや開発の経費が膨大なのでは・・・』と心配したのだが、5年間のメンテナンス契約で1200万円とのことであり、「ええっ!」と驚かされた。

課題として・・・①多言語に対応していないため、外国人向けの対策が必要。②災害時など市民からの動画での投稿が有効であるが、容量が膨大になるため動画での投稿は不可。とのことであり、今後の改善を目指すそうである。

## 7-2. 糸満市平和祈念祭事業

糸満市は先の大戦における沖縄戦終焉の地であり、毎年6月17日から23日までの一週間を「平和週間」として条例を定めこの期間を中心に年間を通して平和推進事業を実施している。その一環として、沖縄戦の記憶を次世代へ正しく伝え、戦没者に追悼の意を表すとともに、平和の発信地として、世界の恒久平和を祈念することを目的として開催されているものであり、令和元年6月15日（土）の開催で24回目を迎えている。

第一部では、「平和の火」前での黙とうの後に、地元の小学生やその父兄、ボランティアの方による「平和の礎拭き清め」が行われている。団長曰く・・・「大分県の礎がいつもきれいに磨かれているのは、この子どもたちのお陰なんだ！有難いことだ。」

第二部では、学徒隊の沖縄戦体験、絵本『ひめゆり』の朗読や沖縄交響楽団によるミニコンサート、いとまんピースフルイルミネーションや糸満市平和ガイド研修生による「糸満市平和都市宣言」が読み上げられている。

毎年200名程度の地元市民の参加とのものであるが、その多くは高齢者と子供たちで、若者世代の参加が求められている。また、来年は25周年に当たる節目の年であり、新たな発想での開催も予定しているとのことである。

## 7-3. 糸満市平和ガイド研修生事業

糸満市では現在、戦争体験者が高齢化により年々少なくなり語り継ぐことが難しくなっている状況がある。本事業では、地域で育った若い世代が、沖縄戦体験者から聴いた戦争体験を語り継いでいけるようになること、地元にある戦争遺跡等について、自分の言葉で説明できるようになることを目標としている。

毎年7月から12月の期間で3年間の研修を実施することとなるが、現在24名が研修中である。小学6年生と中学生が対象であるが、高校受験や予算措置の課題などもあり、実施から5年を迎えたこの時期をとらえて見直しの方向性も検討中とのことである。

## 7-4. 平和祈念公園

この公園は復帰前から琉球政府によって、この地で建設が開始され、復帰後は都市公園として昭和47年から本格的な整備が行われてきた。

公園は約40ヘクタールの広大な面積を有し、約18万余柱の遺骨を納める納骨堂と供養塔、各県の慰霊碑を中心とした霊域ゾーン、資料館や祈念堂を中心とした平和ゾーン、毎年6月23日の「沖縄慰霊の日」に平和式典が開催される平和式典ゾーン、遊具施設なども整備された園路・広場ゾーン、そして戦争終結50年を記念して1995年に建設された「平和の礎」がある。

平和の礎には沖縄戦で亡くなった国内外の20万余人の名前が刻まれており、大分県出身者の名前も多数刻まれている。昨年と今年にも大分県出身者がひとりずつ新たに名前を刻まれている。「慰霊の日」を前に毎年糸満市の子どもたちがこの礎を拭き清めてくれていることを知り、驚きと共に感激と感謝の気持ちを新たにした。

沖縄県平和祈念財団（公益財団法人）の仲田元主査には大変丁寧な対応を頂き、公園内をくまなく案内していただくとともに、平和の広場の「平和の火」を我々の

視察のために点灯していただいたことに改めて感謝申し上げます。

#### 7-5. 平和祈念資料館

この施設は戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次世代に伝え、全世界の人びとに私たちのこころを訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、人間の尊厳を何よりも重く見て、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する”沖縄のこころ”を具現するために2002年3月に開館していた。

展示のコンセプトと内容は住民目線から捉えることを基本に「平和祈念資料館監修委員会」が決めているが、大田知事時代、稲峰知事時代と時の県知事によって変更されてきたし、全国から展示内容や説明文章への批判や変更要求などにもさらされ続けている。展示項目はおおまかに「沖縄戦下の住民」「米軍占領下の沖縄住民」、「アジア・太平洋の中の沖縄」、「基地の重圧と住民」、「燃え上がる復帰運動」、「復帰した基地沖縄」、「21世紀の平和創造と沖縄」などに分けられている。

展示場は子どもを対象とした1階と5室に分かれて展示している2階があり、2階では第1室「沖縄戦への道」、第2室「住民の見た沖縄戦『鉄の暴風』」、第3室「住民の見た沖縄戦『地獄の戦場』」、第4室「住民の見た沖縄戦『証言』」、第5室「太平洋の要石(かなめいし)」と、時系列的にそれぞれのテーマに分かれて展示されている。

特に第5室については、戦後の収容所生活、27年間の米軍統治、復帰運動、平和創造を目指す沖縄を展示している。

沖縄の戦後は収容所から始まったが、その後、米・ソを軸とした冷戦構造の中で軍事基地として強化され、ベトナム戦争の際には攻撃基地として、囂らずも戦争に組み込まれていった沖縄。土地を奪われ、さまざまな抑圧を受け続けてきた沖縄の今日の、島ぐるみの土地闘争や基地返還運動へと広がって行く様子を分かりやすく展示している。

特に感じたのはこの資料館が過去の戦争の悲惨さや土地収奪の理不尽さを語るだけでなく、東西冷戦が終わった今もなお、世界各地に繰り広げられる民衆の悲劇に対して、沖縄の体験を教訓として伝え、未来志向で平和の要石からの情報発信をしようということであり、沖縄県民の心情が暖かく伝わってくる気がした。


沖縄県平和祈念資料館の学芸員、金城孝之主査はもともと小学校現場の教員であり、平和授業を現場で推進してきた経験を、小中学生の研修・見学に活かしているとのことであったが、我々も彼の説明を聞き、子どもたちへの説明の仕方や子どもたちの反応を確かめながら沖縄戦の歴史を語ろうとする姿勢に深く感じるころがあった。

出張報告書

令和元年8月23日

会派代表者 殿

令和元年8月20日から8月22日まで出張しましたので下記のとおり報告します。

会派名 おおいた民主クラブ  
報告者 堀 嘉徳 

1. 出張先 沖縄県那覇市泉町1-1-1  
那覇市役所  
沖縄県糸満市潮崎町  
糸満市役所  
平和祈念公園 管理事務所  
平和祈念資料館
2. 用務 那覇市なはMAP事業視察  
糸満市平和祈念祭事業視察  
糸満市平和ガイド研修生事業  
平和祈念公園及び平和祈念資料館事業視察
3. 出張者氏名 井手口良一 堀嘉徳 松本充浩 高松大樹
4. 研修調査等の内容  
4-1. 令和元年8月20日(火曜日)午後2時30分~4時  
那覇市役所  
那覇市なはMAP事業  
4-2. 令和元年8月21日(水曜日)午前10時~12時  
糸満市役所  
糸満市平和祈念祭事業  
糸満市平和ガイド研修生事業  
平和祈念公園及び平和祈念資料館事業視察
5. 面談者  
那覇市  
那覇市議会 議会事務局 調査法制課 主幹 宮城 勝哉氏 他2名

那覇市 企画財務部 情報政策課 課長 當間 薫氏  
情報化推進グループ 主幹 伊覇 太氏  
主事 我那覇 生将氏  
主事 加賀 拓也氏  
総務部 防災危機管理課 主幹 (防災士) 座安 司氏 (他1名)

糸満市

糸満市議会 議会事務局 局長 中田 徳明氏  
主査 山城 正彦氏  
糸満市 企画開発部 秘書広報課 男女・平和・交流係  
係長 仲西 則子氏

沖縄県平和祈念財団 (公益財団法人)

主査 仲田 元氏

沖縄県平和祈念資料館

主査 (学芸員) 金城 孝之氏

6. 添付資料

- 6-1. 那覇市役所なはMAP事業
- 6-2. 糸満市平和祈念祭事業  
糸満市平和ガイド研修生事業

7. 所感

7-1. 那覇市なはMAP事業

この事業は、旧システムが平成30年12月に機器の保守期限が切れる事に伴い、システムを再構築したもので、既存の防災マップや都市計画情報提供システム、また、文化財マップ、バリアフリーマップ、病院情報などを新たなシステム「なはMAP」に統合した事業である。

これまでのシステムでは、それぞれのシステムごとにサーバーを立てており、運用保守に多くの労力がかかったり、同じデータであってもシステムに応じた個別設定が必要であったり、職員がデータ更新できない等の課題があった。

そのため、今回再構築した「なはMAP」では、こうした課題の解消に努められており、具体的には、単一のシステムでの運用による運用保守が容易になる、クラウドでの運用による機器保守がなくなる、また、一つのレイヤーを複数のテーマに搭載可能になる、職員による更新が可能かつ容易になる等の改善が行われている。

さらに、Google と連動することにより、スマートフォン用 OS との親和性が高く、直感的に操作ができる仕様であり、ユーザーの環境に依存しないマルチデバイス・マルチ OS・マルチブラウザとなっており、使用者にとって、これまで以上に簡易で利便性の高いものとなっている。

情報技術の進展が著しい今日、大規模データを日々蓄積している行政として、

そのデータ活用を行い、市民の皆様の利便性を向上させる意味において、非常に参考となる事例であった。情報通信機器の利便性が高まる中、行政としても、より身近な利用者への視点でデータの更新・活用を行う必要があると考える。また、今回の事業では、開発費と5年間のメンテナンスを含めて約1200万円の予算であったとお聞きし、費用対効果としても非常に有用であると思われる。

今後、公開データの拡充や地図データのオープンデータ化も検討しており、大分市においても、十分に検討し活用できる事業であった。

#### 7-2. 糸満市平和祈念祭事業

糸満市は、沖縄戦終焉の地であり、毎年6月17日から23日を「平和週間」と定め、この期間を中心に年間を通じて平和推進事業を推進している。

糸満市平和記念祭においては、「平和の礎拭き清め」と「平和レクイエム朗読会」の二部構成となっており沖縄県と共催で実施されている。

「平和の礎拭き清め」では、6月23日（慰霊の日）を迎えるにあたり、布で平和の礎を拭き清め、沖縄戦で亡くなられたすべての人々に哀悼の意を表すとともに、親子で命の尊さや平和の大切さを考える機会とするものである。「平和の礎」は、沖縄県の太平洋戦争・沖縄戦終結50周年記念事業の一つとして、平成7年に平和記念公園に設置された記念碑であり、戦争の追悼と恒久平和を願い、国籍や軍人、民間人の区別なく沖縄戦で亡くなられたすべての人々の氏名が刻銘されている。

「平和レクイエム朗読会」では、沖縄戦の悲惨さと平和の尊さを次世代へ伝えることを目的として、平和をテーマとした戦争手記朗読及びコンサートを実施している。

この二つの事業を軸とした糸満市平和記念事業祭には、例年、200名ほどが参加しているが、高齢者や子どもの参加がおおく、働く世代の参加者が少ないという傾向もあり、いかに多くの世代の方に参加してもらえるかが、課題とされている。

#### 7-3. 糸満市平和ガイド研修生事業

本事業では、沖縄戦体験者から児童・生徒が直接話を聞く機会を設け、継承に関わる人材育成に繋げることを目的としており、市内の児童・生徒を対象に戦争体験者講和及びボランティアガイド研修等の平和教育を実施するものである。

研修生は、市内すべての小学校6年生と中学校1年生を対象とし、各学校の校長の推薦によりそれぞれ1名が選ばれ、研修生となっている。

研修は、「事前研修」、「宿泊研修」、「ボランティアガイド研修」に分かれて実施されており、平和の尊さと戦争の悲惨さを後世に伝えること、沖縄戦体験者の記憶と思いを残すこと、地元の戦争遺跡等について自分の言葉で説明することを研修目標とし、原則3年間での育成を予定している。研修終了後の研修生OBの活動について、課題としてあり、今後の事業の在り方を検討しているとの事。

#### 7-4. 平和祈念公園

平和記念公園は、「沖縄戦終焉の地」である糸満市摩文仁の丘陵を南に望む台

地にあり、供用面積39.5ha、国立沖縄戦没者墓苑のある霊域ゾーン、平和記念資料館や平和祈念堂のある平和ゾーン、公園として利用される園路広場ゾーン、平和の礎や毎年沖縄全戦没者追悼式が開催される式典広場を含む平和ゾーンに区分されている。

平和記念公園の視察では、主に「平和の礎」や平和の広場を見学し説明をうけた。糸満市平和記念祭事業の一つとして拭き清めが行われる「平和の礎」に、刻銘碑があり、これらは、平和の広場を中心に放射状に円弧の形で配置されている。また、刻銘碑は、屏風状に並んでおり、五つ折りタイプ69基、三つ折りタイプ49基の合計118基、刻銘版は1220面に及び、約25万名の刻銘が可能となっている。

刻銘されたお一人お一人のお名前を前に、戦火による犠牲者の多さが実感され、平和の尊さに改めて気づかされた。また、毎年この刻銘碑を拭き清めされている児童・生徒・関係者の皆様に頭が下がる思いであった。

#### 7-5. 平和祈念資料館

現在の平和記念資料館は、1975年に建設された資料館がリニューアルされ2000年に開館した施設であり、展示場は子どもを対象とした1階と常設展示室のある2階に分かれている。今回は、2階の常設展示室を視察した。

2階の常設展示室は5室に分かれて展示されており、第1室「沖縄戦への道」、第2室「住民の見た沖縄戦『鉄の暴風』」、第3室「住民の見た沖縄戦『地獄の戦場』」、第4室「住民の見た沖縄戦『証言』」、第5室「太平洋の要石(かなめいし)」と、時系列的にそれぞれのテーマに分かれて展示されている。

今回の視察で、改めて沖縄戦の激しさ、悲惨さ、平和の尊さが実感された。政治や行政にかかわる人は、一度はこの資料館や平和記念公園を訪れる必要があると考えさせられた。



支 出 調 書

支出番号	第 19 号	会派代表者	経理責任者
令和 元年 8月 28日 起票			
支出科目	資料作成費		
支出額	¥8,885 —		
支出内容	インク代金として		
支出先	株式会社ベスト電器		

領収書等貼付欄

領収書

管理No. 2219-404-0002025

伝票No. 2219-404-070202

発行日: 2019年08月28日

おおい=尾住くろく 様

内訳 現金 ¥8,885 — (内消費税 ¥658)

但し インク 代として。  
上記の金額正に領収いたしました。  
株式会社ベスト電器  
福岡市博多区千代6-2-33

※印刷面を内側に折って保管願います。

印紙税申告納  
付につき博多  
税務署承認済





B2219404070202B

3194693010 BC1321+3205MP 321  
外08  
1.持帰  
2  
4,330 X  
¥8,660  
-¥433  
会員様値引 (5%)

領収書が複数の場合は裏面に貼付すること。

支 出 調 書

支出番号	第 20 号	会派代表者	経理責任者
令和 元年 8月 28日 起票			
支出科目	その他の経費		
支出額	¥3,855 —		
支出内容	8月分燃料費 (井手口議員)		
支出先	新光石油株式会社		

領収書等貼付欄

IDEX 領収書

印 紙

650067

金池 S S  
TEL 097-537-1557  
新光石油 株式会社  
大分市金池町4丁目9番32号

売上 2019年 8月 8日  
車番 09:04  
イデグチ リョウイチ 様  
現金会員 01-006235-11531-0001-3

ガソリン P-4(内)  
45.65 L 0161.0 7349円  
01200.00

合計 7,349円  
(内、消費税等(8.00%) 544円)

釣銭 1万円: 2,651円  
8千円: 651円

伝No: 10065 担当: 0146

※本書保管上のお願い  
財布・手帳等にはさんで保管頂く場合は、印刷面を内側に折り保管をお願いいたします。

IDEX 領収書

印 紙

650067

金池 S S  
TEL 097-537-1557  
新光石油 株式会社  
大分市金池町4丁目9番32号

売上 2019年 8月 17日  
車番 07:51  
イデグチ リョウイチ 様  
現金会員 01-006235-11531-0001-3

ガソリン P-7 \*  
50.15 L 0161.0 8074円  
01200.00

合計 8,074円  
(内、消費税等(8.00%) 598円)

釣銭 1万円: 1,926円  
9千円: 926円

伝No: 10025 担当: 0180

※本書保管上のお願い  
財布・手帳等にはさんで保管頂く場合は、印刷面を内側に折り保管をお願いいたします。

領収書が複数の場合は裏面に貼付すること。

令和 元年 8月 28日

会派代表者 殿

会派名 おおいた民主クラブ

氏名 井手口 良一



燃 料 費 計 算 書

(令和 元年 8月分)

月 日	燃料費 (円)	支出先
8月8日	7,349	新光石油株式会社
8月17日	8,074	新光石油株式会社
計	15,423	
控除すべき金額		(②の控除理由)
小計 (①-②)	15,423	
請求額 (③×25%)	3,855	

※ 領収書 (カード利用の場合は納品書) は裏面に貼付してください。

※ 領収書 (カード利用の場合は納品書) は車番、給油年月日、金額が記載されていること。



# 8月勤務時間計算表

新市民クラブ

時給	平日	¥1,000
	休日	
交通費	往復	¥720

日	曜日	始業時刻	終業時刻	休憩時間	実働時間	時給	日給	交通費	小計	備考
1日	木									
2日	金									
3日	土									
4日	日									
5日	月									
6日	火									
7日	水	10:00	12:30	0:00	2:30	1,000	2,500	720	3,220	
8日	木									
9日	金									
10日	土									
11日	日									
12日	月									
13日	火									
14日	水									
15日	木									
16日	金									
17日	土									
18日	日									
19日	月									
20日	火	9:00	13:00	0:00	4:00	1,000	4,000	720	4,720	
21日	水									
22日	木									
23日	金									
24日	土									
25日	日									
26日	月									
27日	火									
28日	水									
29日	木									
30日	金									
31日	土									

## 8月分給与明細

実働時間	6時間30分
給与	6,500
交通費	1,440
支給額合計	¥7,940

代表者印	経理責任者印
	